

2008年度 TNVNの活動に向けて ご協力を！

◆第15回総会は

2008年4月27日午後1時半から東京ボランティア市民活動センターで例年通り開催され、出席者は15名、委任状37団体(会員数78団体)でした。

議長に佐久間証守(日本語学習市場代表)さんを選出し、2007年度活動報告・会計報告、引き続き2008年度役員(P-8参照)の選出と活動計画・予算案の報告が為され、出席者全員の賛成で総会が終了しました。

◆第15回総会後に

行われた意見交換会での発言です。

「現在、日本語ボランティア活動に使用させて貰っている部屋の建物が改築で取り壊しとなり、活動の場所が無くなります。これから探さなければならないのですが、なかなか見つかりません」「毎回電話予約で会場の確保をしています、時に取れない時があり、その時は民間の会場を高い会場費を払って開いています。参加者が多く費用が高むのと、その時の案内が大変です」「最近私達の活動が認められやっと部屋を優先的に借りられるようになりました」「会場が取れないと休まざるを得ません」等活動の基盤である会場の確保には半数以上の団体が苦勞をしています。(P-4, P-5を参照)

◆2007年度は

「ボランティア日本語教室ガイド2008東京」発行(前号No.61で紹介)に対して193の団体から協力を戴きました。調査では「ガイド」掲載内容と併せて活動状況を各団体に記入いただきました。

これを取りまとめ、先号(No.61)と本号(No.62)に「グラフで見るボランティア日本語教室の活動状況」として掲載しました。

調査結果から東京都で活動しているボランティア日本語教室の現状が読み取れます。

◆2008年度TNVNの活動は

上記の調査結果をこれまでの活動に折り込んでいきます。

① 日本語ボランティア教室における学齢期児童の日本語学習支援

昨今学齢期児童への日本語支援・教科支援への具体的なボランティア活動が行政・教育委員会との協働・連携で実施されるようになってきています。

こうした状況を踏まえてTNVNは地域での日本語学習支援の立場からの支援活動を考えていきます。

また、ボランティア日本語教室での児童生徒への学習支援はどのように行われているか、現状を更に詳しく調査します。

② 活動を通して行政との関わりを深め、日本語ボランティア活動の裾野を広げる。具体的には国際交流・協力TOKYO連絡会のメンバーとして、東京都の施策に協力しつつ日本語ボランティア活動の現状理解と支援を働きかけます。

③ ホームページでの最新情報の提供

TNVN-HPには日本語学習支援の場や日本語ボランティア活動の場を求めて、アクセスが非常に多くなっています。本年度は「ボランティア日本語教室ガイドTOKYO 2008 東京」冊子の発行に合わせてHP上での内容を更新・追加し、活動場所の地図を配置し、より実用的なモノとします。

④ 情報交換会

日本語学習者に対して地域のボランティア教室は連携が出来るか。

日本語学習者は複数の教室で学習支援を受けています。これらの情報を各教室が共有し学習者を支援することの意義は大きい。

複数の地域で情報交換会を開き、地域で抱えている課題と解決策を話し合う場を作り、今後もテーマを絞って進めていきたいと思います。

(代表 梶村 勝利)

日本語ボランティア

寄稿

坂本 喜久子

「話しましょう日本語を」代表（練馬区）

日本語を教えるボランティアに一番求められるのは、辛抱強く続けることだと思います。母語も経歴も現在の生活も千差万別の方たちが相手です。一つの文型を理解してもらうために、考えられるだけの例文を駆使しながら、数ヶ月かかったこともありましたが、その間に築かれた相互の信頼が、その後日本語の習得を加速させたようです。

日本語を勉強する側も、いつも同じ曜日に、同じ場所に行けば、同じボランティアたちが待っていてくれるということは、うれしく、また励みになると言います。

私は日本語のボランティアを続けて20年近くなります。練馬公民館で毎年50人を対象に、24週の日本語ボランティア養成講座も11年間担当させていただきました。現在練馬区には15の日本語ボランティア教室がありますが、そのボランティアの多くが、公民館のこの講座の修了生でしたので、各ボランティアグループの様子がお互いによく分かり、連絡会もでき、助け合いながら、問題を話し合うこともできました。

練馬区のどの日本語教室にも言えることですが、長期間ボランティアを続けている人がかなり多く、また、練馬区には定住外国人が比較的多いので、この両者の間に、深い信頼関係が築かれつつあるようです。以前に勉強した方に紹介されるとボランティア教室に来られる外国人も少なくありません。

しかし、問題も出てきています。転勤や家族の介護のために、ボランティアを辞めざるをえなくなる人が増えてきています。これはボランティアの年齢層から見て仕方がないことですが、新しいボランティア希望者が減少していることも事実です。趣味で忙しい、収入のある仕事をしたいなど、理由はいろいろです。しかし、ボランティアがまだまだ必要とされていることも事実です。



私がメンバーの石神井の教室は、今までに51カ国から800名近い外国人を受け入れてきましたが、過半数が子連れのお母さんたちでした。子どものために日本語で言いたいことが言え、言われたことがわかるようになりたい、そして、友達もほしいという方たちでした。今も日本語ゼロという方が見えます。暗い顔で来られる方が早く笑顔になれるように手伝いたいのですが、ボランティアが足りません。それで、昨年、私がボランティアで13週39時間の日本語ボランティア養成講座をボランティア仲間と立ち上げました。

区報に出して1週間で70名を越す希望者があり、30名しか入れない教室を用意していた私たちには、うれしい驚きでした。今回は30名の方に入っていたが、25名が終了し、24名が区内の教室でもう活動しています。11年間の公民館の養成講座からは、延べ35名の外国人ボランティアも出て、活躍されましたが、今回も中国語圏の方たちによる新しい教室が生まれました。

「残留孤児」だった方たちの要望に応じて、中国語で教える日本語教室です。都営団地の集会所は居住者が借りる場合は使用料が安いので、勉強する方たちは集会所を借りるときに必要な日本語をまず練習しました。集会所が使えないときはメンバーの家で、「ちゃぶだい」の上で勉強するそうです。

日本語を教えるボランティアにやれることはまだまだありそうです。



はじめまして。トルコから参りましたカラデニズ・ムラットです。日本には、97年に「日本トルコ学生会議」に参加する為2週間滞在に来て、翌年文部省の国費留学生試験に合格し、東京大学の電子工学科で学び、現在は日本企業に就職して8年目になります。

私は勤務を始めてから色々な国に長期出張で訪れる機会がありました。日本から外国を訪れる度に、日本へ帰る時、「自分の国へ帰る」ように感じ、その気持ちが、だんだん強くなっている事にある時気付きました。なぜ、外国人の私がそう感じるのだろうか？その理由をいつも考えていました。

皆さんは「ALWAYS～3丁目の夕日～」という映画をご覧になりましたか？昭和33～34年の東京の下町の物語です。私は最近、出張中機内で観て、「やはり、これだ」と思いました。日本人とトルコ人の人間関係がよく似ているのです。この映画では、近所の方が、家族のように仲良く、幸せも喜びも悲しみも一緒に分かち合い、困った人を皆で助け、そして何より、家族を一番大切にしています。昔の日本は、あの世界だったのでしょうか。これは、トルコも全く同じで近所づきあいや、家族をととても大切にしています。つまり、トルコ人も日本人も、共通の心があるのです。

なぜ、地理的にこんなに遠く離れているのに、トルコ人と日本人は似ているのでしょうか？トルコ人はなぜ日本人を世界一好きで、世界で一番親日的だといわれるのでしょうか？そして、私自身、なぜ日本は第二の祖国のように感じるのでしょうか？

実はトルコ人の祖先は中央アジアから西方

へ移動し、現在のトルコに住みはじめました。トルコ人の生活スタイルはヨーロッパに近いのですが、心はアジア人の心をもちつづけています。

日露戦争で日本がロシアに勝利したことも大きな出来事で、トルコの前身であるオスマン帝国はロシアが天敵でしたから、当時の人びとは、トルコ人のように勇敢で強い日本人に対し、尊敬の念と同朋意識を抱いたといえます。

1890年にオスマン帝国の軍艦エルトゥールル号が、皇帝の親書をもって来日しました。しかし、帰途で運悪く台風にあっしまい、和歌山県の檜野灘沖で遭難し、船員587名が死亡し、69名は大島の漁民たちの必死の救助と手厚い介護のおかげで命をとりとめました。トルコの教科書にも出ているこの事件は、トルコ人は決して日本人への感謝の気持ちを忘れません。

1986年のイラン・イラク戦争の時、テヘランに取り残された200人の日本人はトルコ政府が出したトルコ航空の救援機でトルコへ脱出しました。

そして、トルコでも布団を使います。特に田舎の方では、ベッドより多いです。昔は炬燵もあったという話あります。家に入る時には靴を必ず脱ぎます。

トルコ語と日本語は文法がとてもよく似ています。同様、動詞が最後にきます。たとえば「私 学校 へ 行きます」はトルコ語でも同じ順番です。その理由も、もしかしたら、昔は近くに住んでいたという事かもしれません。

また、その他にもたくさん色々な話がトルコと日本間にあります。

トルコと日本；遠いけれど近い2つの国。これからもこの2国間に色々な話が生まれるでしょう。私は日本人にもトルコ人にも相手の事もっと知ってもらいたいと思っています。2つの国の人々の架け橋になるように頑張りたいと思います。ひょっとしたら、いつかそのよい話に、私の頑張りも仲間入りするかもしれないな、と願いながら。

* 遠いけれど近い国・トルコ *

カラデニズ・ムラット・オズギュル
Murat Karadeniz
(トルコ)



ボランティア日本語教室の活動状況—2

No.61号(2008.3.14)に引き続き調査結果に基づく活動状況を報告いたします。なお、調査団体(教室)数は193団体、241教室。複数回答や回答なしなどが混在しています。
担当=岩佐

会員数・学習者数

全体の実働会員数は3,900人(含・外国人ボランティア91人) 全体の学習者数は約7,400人
ボランティア1人あたり約2人の学習者を担当しています。

図-5 会場の確保

教室の半数以上が予約を必要としています。

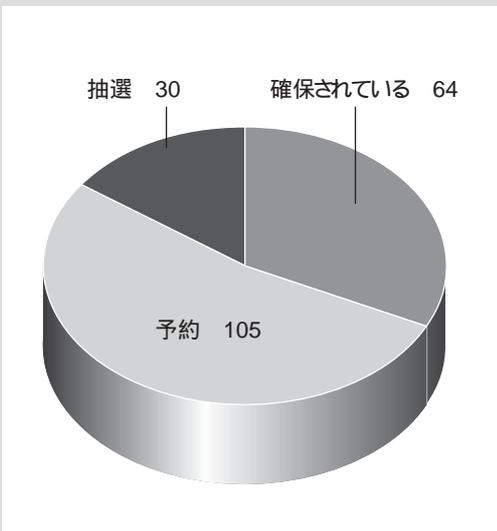


図-6 レッスン・クラス形式

少人数クラスでの対応は72カ所で、個人レッスンのみの対応は、54カ所、全体の25%です。

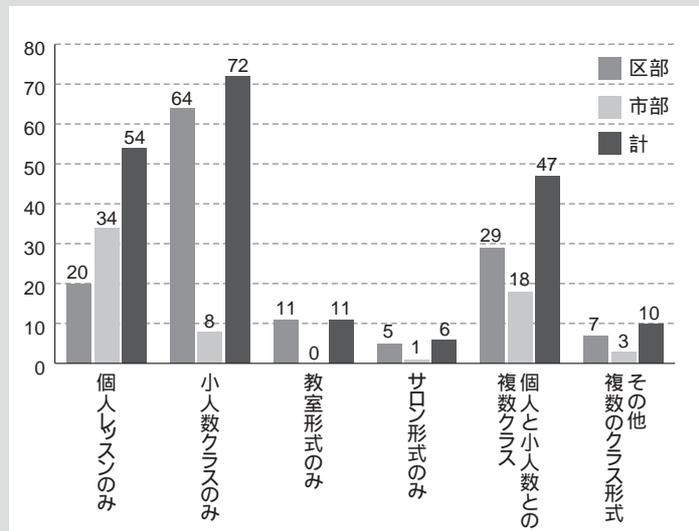


図-7 レベル対応

全てに対応は138カ所で半数以上、入門・初級のみでの対応は25カ所と少ないです。

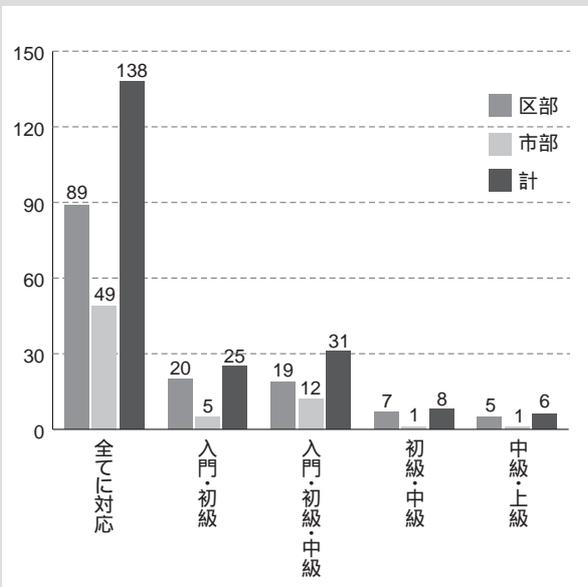


図-8 児童・生徒の受け入れ

回答した教室の半数以上が受け入れています。対応は多様です。

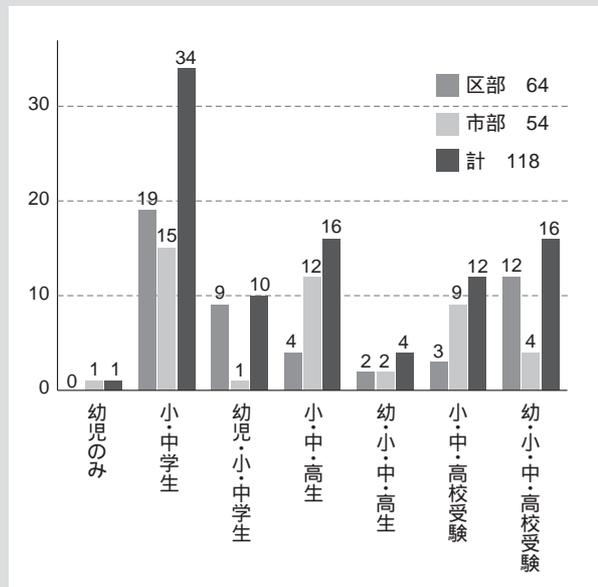


図-9 学習支援対象

学習支援となりますと、図8より教室数がかなり少なく
なり、学習支援対象は、小・中学生が36カ所と半数、高
校受験は24カ所です。

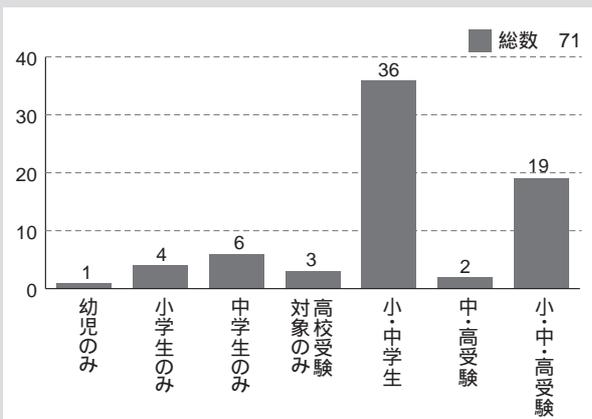


図-11 子ども連れ受入

「保育室あり」は20カ所、全体の10%です。

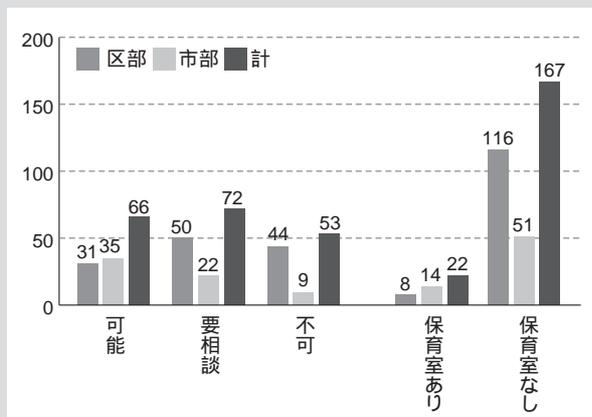


図-12 学習者の会費

1回100円～200円・月額制・一括払い等の採用が多く
見受けられます。また、無料で学習者を受け入れている
教室があります。

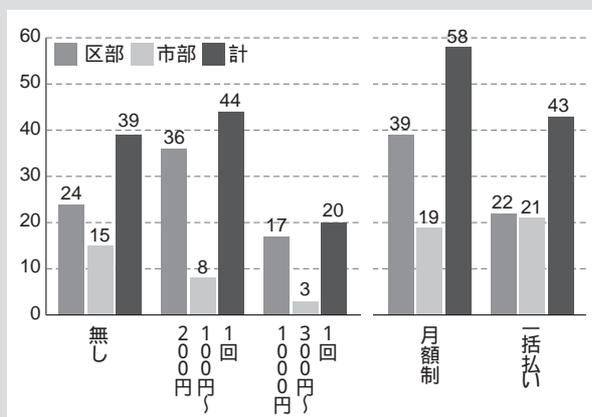


図-10 児童・生徒学習支援の連携

行政・学校との連携ありは、27カ所。連携なしは62カ
所です。

*学齡期児童、生徒への学習支援について意見を求めまし
た。おもな意見は、

- ◎学齡児童は学校に委ねるべき。
- ◎学校との連携は必要。
- ◎学校や他の教室とのつながりが必要。
- ◎週1回では限界。
- ◎教科とのかかわりが問題。教科中心にならざるをえない。
- ◎個別対応がのぞましい。
- ◎非漢字圏の子にたいする漢字教授法の開発
- ◎かかわる意義を見いだせないとおぼやかしい。
- ◎安全性に問題（夜はとくに）
- ◎保護者のサポートが必要なときも。

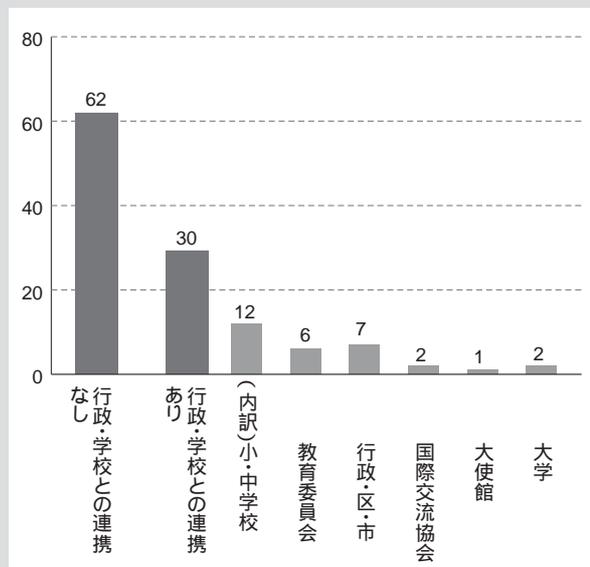
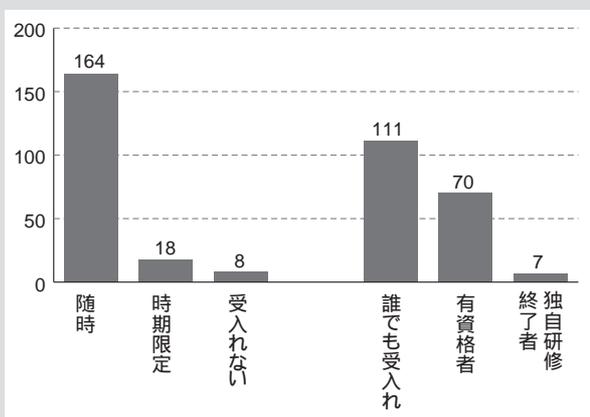


図-13 支援者の受け入れと資格

受け入れは随時ですが、有資格者をとの期待があります。



人との出会いを楽しんで

『日本語』で交流・虹の会（火曜日）

根本 百合（西東京市）

月4回火曜日の夜7～9時に開かれる日本語教室は、12年目に入りました。駅前の公民館という交通の便のよさで、西武柳沢駅周辺だけでなく、ひろく西武新宿線を利用する人々の集まる場となっています。

昼間は働いている人、日本語学校や大学に通う学生、日本人と結婚した外国人女性、学業の途中で来日した小・中学生など、様々な人々が来ます。一人一人の事情に応じて対応するよう努力しますので、コツコツと漢字を勉強する人あり、学校の宿題をする小・中学生あり。

すでに日本語学校を終了したり今現在通っている人は、日本人との会話を求め

る場合が多く、2～3人の小グループでおしゃべりがはずみます。日本の生活習慣などから始まる会話も次々と話題が広がり、彼らの旺盛な好奇心に応える日本人スタッフも一所懸命で、思わず時間を忘れます。先日帰国された方から「虹の会で過ごした時間が楽しかった」と言われ、とてもうれしかったです。

私たち日本人スタッフの側から言うと、日本語教室は言葉とともに日本人のものの考え方や社会のしくみを説明し、相手の考え方に触れる場です。努力や工夫を重ねても、なかなか充分には出来ませんが、「志は高く、現場は楽しく」を目

指して活動しています。目の前に座った外国の方との対話は、来日間もない人も、長く滞在していてとても日本に詳しい人も、みな興味深く面白いです。スタッフ募集中です。また、昨年まとめた会の「十周年記念誌」残部少々ありますのでご希望の方には差し上げます。

welcome-nijinokai@hotmail.co.jp



会員団体紹介

Nice to Meet You

地域に根ざした寺子屋学習！

小岩日本語クラブ

代表 茂木 元男（江戸川区）

総武線JR小岩駅を歩いて10分程の、区立小岩図書館2階奥の集会室が私たちの教室です。毎週日曜日10時より12時までの時間帯に集う学習者は60名を超える時があります。和気あいあい楽しくにぎやかな教室は、学習者のニーズや日本語の習熟度に応じて班編成し、寺子

屋のように少人数グループで活気にあふれています。

当クラブは発足して10余年が経ちます。この間ほぼ例年ですが、新年会（1月）、お花見（4月）、江戸川区ボランティアフェスティバル（7月）、江戸川花火大会（8月）、お料理会（10月）、異文化交流セミナー（11月）、忘年会（12月）のイベントに参加したり、企画し運営したりしながら心温まる交流を続けてきました。

例えば、異文化交流セミナーでは、学習者のスピーチや民族舞踊を見聞し、互いの文化を知る

絶好の機会になっています。お料理会では、お国自慢のごちそうを披露し、みんなで作って食べて楽しいひとときを送っています。

これらのイベントと、いつもの寺子屋学習を通して思うことは、教え学び合うことは喜びを深め合うということ。私たちの活動がクラブ員相互の活性化を育て、地域に根ざした取り組みであるということです。

自分たちのできることから一つ一つ積み上げて、継続は力になってほしいと思います。今度、小岩日本語クラブにも足を運んでみて下さい。お待ちしております。



日本の春の花

学習者の声

河井イーラ / インドネシア
世田谷日本語クラス（世田谷区）

とてもきれいです。ヤエ桜は新宿御苑がおすすめです。大きい木がたくさんあります。枝は地面まで触るほどです。桜の中で一番好きな種類です。しかも、園内は禁煙ですし、動物も禁止、ほかの公園と比べるととてもきれいです。いつもピクニックの後は、木の下に寝転がって花を楽しみます。まるで雲のようです。年に一度と言わず、何度も楽しみたいです。

先週私は茨城県の国営ひたち海浜公園にスイセンを見に行きました。東京から車で3時間もかかります。そこで13種類、100万本のスイセンが育てられています。2時間半レンタル自転車で公園の中でぐるぐる回ってとてもたのしかったです。

日本はすごい所と思います。



私は7年前インドネシアから来ました。私の一番好きな季節は春です。なぜなら気温が快適で花がたくさん咲くからです。梅、桜、ポピー、チューリップ、アイリスとつぎつぎに見ることができます。

2月から3月にかけて梅の花の見頃を迎えます。4年前このクラスの野外レッスンで初めて青梅市の梅の公園に行きました。ここは、東京で梅を見るのには一番の場所だと思います。2万5千本の梅の木で山が埋めつくされています。白やピンクや赤い美しい花々が良いにおいがします。必ず訪れるべき場所です。

梅が終わったら桜があちこち咲きます。私は主人と毎年昼も夜も花見に行きます。今年は目黒川、呑川沿いを3回も歩きました。以前に比べるとお天気が良かったので長い期間楽しむことができました。昭和記念公園はソメイヨシノだけではなくポピーとチューリップもいっしょに咲いて

ボランティアの声

世田谷日本語クラス（世田谷区）

鳥巢三津子

言葉の壁を越える

「世田谷日本語クラス」でボランティアをはじめて3年目になりますが、いつも驚かされるのが、日本語を学ぶ学習者の熱心さです。中でも印象深いのが、フィリピンの10歳の女の子、Dちゃんでした。

日本に来たばかりでまだお友達ができず、3ヶ月後の4月から入る日本の小学校でぜひお友達をつくりたい、そんなDちゃんのために、あれもこれもと、意気込んでいた私ですが、きっと言葉がわからず苦労するだろうから、という予想は、実にあっさりよい方へと裏切られました。

最初は英語を交えることが多かったのですが、数週間後には、英語を全く使わずに覚えたかぎりの日本語を並べて、たどたどしいながらも一生懸命、公園でお友達ができたことや、ディズニーランドへ行ったことなどを、とても楽しそう

に話してくれるようになっていたのです。

家族ぐるみで頑張っていましたし、週何度が授業を受け、いろいろな方からたくさん知識を吸収していました。そして何よりも、「間違えたら恥ずかしい」と微塵も考えず、覚えたての日本語を使って、どんどんコミュニケーションをとってみようとする、彼女自身の素直さ、先入観の無さがプラスに働いたのでしょう。こどものうちのほうが語学の習得は格段に早いといわれますが、頭脳の柔軟さとともに、心の柔軟さが進歩を助けるのだと、改めて感じました。

私自身は海外で生活をしたことはありませんが、いつの日か、ぜひ経験してみたいと考えています。今のうちから、Dちゃんをお手本に心のストレッチに励み、いざその時には、10歳のこどもに戻ったつもりで言葉の壁をひらりと軽やかに乗り越えてみたいものです。



● TNVNは2008年度
下記のメンバーで
活動をしていきます。
ご協力をお願いします。



メンバーは毎週金曜日事務局（東京ボランティア・市民活動センター・ロビー：飯田橋）にて交代で、事務処理・相談・情報交換、定期的にはニュースレターの編集・校正・発送作業、役員会等を行っています。会員メンバーの方々をはじめ活動に関心をお持ちの方、気軽にお立ち寄り下さい。

- 代表：梶村 勝利（早稲田奉仕園日本語ボランティアの会 / 新宿区）
副代表：岩佐 幹彦（江戸川平井にほんごサークル / 江戸川区）
事務局長：林川 玲子（ビバ日本語教室 / 港区）
会 計：床呂 英一（まちだ地域国際交流協会 / 町田市）
会計監査：竹田 仁之介（田無国際交流サークル / 西東京市）
スタッフ：岡田 美奈子（やさしい日本語 / 江東区）
小川 伶子（初歩日本語 / 練馬区）
大木 千冬（町田日本語の会 / 町田市）
福井 芳野（小平日本語ボランティアの会 / 小平市）
鶴田 環恵（在宅） 大滝 敦史（在宅）
松川 彩子（在宅：やさしい日本語 / 江東区）

■「ボランティア日本語教室
2008東京」を発行・配布して
おります

「ガイド」をご希望の方は、頒布代金（1部700円）と送料を郵便局でお払込み下さい。
口座番号：00100-1-719259 加入者名：東京日本語ボランティア・ネットワーク
なお、東京ボランティア・市民活動センター（TEL:03-3235-1171）でもご購入出来ます。
冊子小包料金：1部:290円、2部・3部:340円、4部・5部:450円

■ニュースレターの記事をお待ちしています

ニュースレターは3ヶ月毎に発行しています。団体・個人にかかわらず、日本語学習支援・日本語ボランティア活動に関する意見・紹介・情報などの記事を是非お寄せ下さい。掲載記事についてのご意見・ご希望も歓迎します。TNVN NL編集担当宛にお送り下さい。

■TNVNへの入会をお待ちしています

詳細はTNVN事務局まで「活動・入会案内」を郵便でご請求下さい。（送料90円切手同封）

● Column

❖ 音楽ボランティアも

歌は、思い出を連れてくると、云われているが、本当に歌うことは、頭の片隅に忘れていた歌詞をよみがえらせてくれるようだ。特養ホームで、音楽クラブを始めて10年。

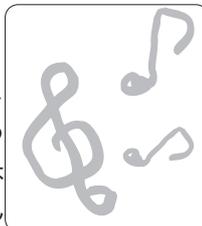
車椅子に乗った人、笑うことも無くじっと一点を見つめている人たち。

お早う、変わらない？元気にしてる？と一人ずつ目を合わせ笑いかけて気分を聞いてみる。私は音楽ボランティア。

歌おうよ懐かしい歌を、ほら、声をだしてみよう。大きな声で、ア————そうそう手

も上にハッといってあげて、今度はたたいてみましょうか。いつも呼びかける私は一生懸命、歌い体を動かし

笑いかけて興味を引き出しながら一人ひとりにエールを送る。仲間と一緒に一時間を盛りあげ、歌うことの楽しさを広げていく。いつも歌わない人が一回でも声を出してくれた、又手が少し動いていたよと、そんな少しの変化が、嬉しくて、今日もどこかで、歌っています。



（大木）

東京日本語ボランティア
ネットワーク事務局

TNVN東京日本語ボランティアネットワークはボランティア日本語学習支援活動を行っている団体のネットワークです。TNVNの会員はそれぞれ地域での日本語学習支援活動を通し、言葉のため日常生活に不自由を感じている外国人などを、隣人として支援しています。TNVNは会員への情報提供・会員相互の情報交換、および外部との情報受発信を行い、活動の活性化を図ります。

東京日本語ボランティア・
ネットワーク事務局の活動

◆日時：毎週金曜日

第1、第3、第5 金曜日 / 午後2時～4時
第2、第4 金曜日 / 午後2時～6時

◆場所

東京ボランティア・市民活動センター
JR、地下鉄（東西線・有楽町線・南北線・大江戸線 - 出口B2b）飯田橋駅下車
セントラルプラザビル 10F ロビー

◆日本語ボランティア相談窓口

日本語ボランティアの活動についてのご相談・ご質問にベテランスタッフが応えています。電話でご確認の上、気軽にお越し下さい。また、メールでのお問い合わせにもお応えています。

ご意見もお待ちしています。

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1
東京ボランティア・市民活動センター
メールボックス No.4

TEL：03-3235-1171

（呼出：金曜日活動時間帯のみ）

FAX：03-3235-0050

E-mail：webadmin@tnvn.jp

URL：http://www.tnvn.jp/

郵便局払込

口座番号：00100-1-719259

加入者名：東京日本語ボランティア・ネットワーク

●新会員紹介

正会員

- めじろ日本語サークル（豊島区）
- コスモスクラブ（千代田区）
- 日本語を話す会（西東京市）
- グループあだち（足立区）
- 江戸川日本語交流会A（江戸川区）
- Hope Scoop Asia（福生市）
- しゃべろう日本語（文京区）

●会員数（2008年5月23日現在）

正会員：84団体 協力会員：38名
賛助会員：4団体

●編集/岩佐 幹彦、大木 千冬、
岡田 美奈子、小川 伶子、梶村 勝利
床呂 英一、林川 玲子、福井 芳野

●レイアウト/鶴田 環恵